

らくぱだより 第8号

2017年11月24日 作成



星野富弘美術館見学

寒くなりましたね。お鍋が美味しい季節の到来です！

皆さんはどんなお鍋が好きですか？わたくしスタッフ井上は「もつ鍋」が大好きです。

ㄗ ㄗ(´ω`ㄗ)=3=3 ゴハンゴハン♪

さて、今回は「星野富弘美術館」へ、らくぱの皆で行ってきました。



実はわたくし、ずいぶん昔から星野富弘さんのファンでして、今回の旅はとても楽しみにしていました。

星野富弘さんは、首から下が動かないので、口に絵筆をくわえて絵を描かれます。その絵に何度も励まされ、笑わされ、元気を貰ったことか。そして、その原画を前にして私が感じたことは・・・

「星野さん、進化している」ということでした。なんか偉そうですね、でも人は一つ所に留まってはいないのだな、と感じてしまったのです。そして、恥ずかしながら泣きそうになってしまいました。

一度行ってみてください。きっと、美術館に入る時と出る時で、自分の中の違う何かに出逢えるはずです。

美術館で心にエネルギーをもらった後は、身体にもエネルギーを補給しなければなりません。ということで、昼食は“道の駅 たのうら”でいただきました。名物の「しらす丼」や「太刀魚丼」をはじめ、手作りの美味しいご飯を、それぞれに堪能しましたよ。≠(￣～￣)ㄉㄉㄉ ごめんなさい、写真はナシです。夢中で食べちゃったので・・・(笑)



この日はお天気がとても良かったので、御立岬に寄り道しちゃいました。お日様に波頭がキラキラと光って眩しいくらいです。その景色はと～～～～っても素晴らしかったですよ。

次に寄り道したのは「立神峡」です。実は紅葉を見に行こうよう～♪と繰り出したのですが、紅葉よりも赤いつり橋にみんな夢中になってしまいました。

高い所が好きな派と、苦手な派でワイワイと渡り切ったら、若くて美しい女性の団体に出逢いました。吊り橋効果でハイテンションな2つの団体の遭遇です。ニッコリと話しかけられたのですが、こちらもニッコリと笑顔を返すので精いっぱいでした。言葉が日本語ではなかったの
で・・・。ただ「こんにちは」だけは通じました。ヨカッタ～♪

